5/29　地震体験

一燈照隅

その立場立場でなくてはならぬ人になる

発　行
平戸市立平戸小学校
文責　校長　永田健治

児 童 数　３２４名
教職員数　　３５名

創立１５１周年

発行：平戸市立平戸小学校　〒859-5121　平戸市岩の上町1509番地　ＴＥＬ：0950-22-9230
E-mail：hirado-es@hirado.ed.jp　ホームページ：「平戸市立平戸小学校」で検索

唯一、祝日がない 一学期の折り返しの６月

じっくり学習に取り組みます

５月下旬に行った個人面談では、子供たち一人一人について、保護者の皆様と情報共有をすることができました。今後の学級経営や個に応じた指導・支援に生かして参ります。大変ご多用な中来校いただき、ありがとうございました。

さて、早いもので１学期も折り返しの６月に入りました。九州北部の梅雨入りも間近でしょうか。学校では、プール掃除を６月４日（水）に行う予定です。水泳指導も始まります。水着等のご準備をそろそろお願いします。

心にも栄養補給

読み聞かせ（読書）は心・精神の栄養です。水曜日の８時05分から10分間、読み聞かせボランティアの皆さんによる「読み聞かせ」がスタートしました。今年度は19名の方々にご協力をいただいています。子供たちは読み聞かせをとても楽しみにしています。学校中がシーンとなります。

読み聞かせは、言語の発達や読解力の向上、さらに想像力や共感力、集中力など、学習の基盤を築きさまざまな成長や発達を促す効果があると言われています。また、家庭での読み聞かせや読書時間は心の安定や親子のコミュニケーションを深めるきっかけにもなります。

家庭でも本に触れる時間はいかがですか。

交通事故から身を守る

５月26日（月）に１～３年生、27日（火）に４～６年生を対象に交通安全教室を行いました。平戸警察署と交通安全協会の方のご指導の下、道路の正しい歩き方、横断歩道のわたり方や自転車の正しい乗り方などを学習しました。

本校では11年前の平成26年４月２日に５年生に進級するはずだった男子が商店街で交通事故に遭い、尊い命をなくす悲しい事故が起きています。「自分は交通事故には遭わないだろう」と思い込んではいけないことも指導しました。

心を見つめる教育週間

長崎県では平成16年から、家庭・地域と連携し「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成」を図ることを目的として、本教育週間が始まりました。

平戸小学校では、６月16日（月）～６月20日（金）を教育週間と設定し、次のことに取り組みます。

①「命に関する講話」等を通して、命を大切にする心情を育む。
②家庭・地域・関係機関等との連携　※全家庭との個別面談実施５月20日～５月26日）
③情報モラルの学びを通して、相手の立場に立った言動などを大切にする心情を育む。
④「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」という意識を育む。
⑤「道徳の授業」を全学級で公開（６月20日授業参観日）する。

トラブルが起きたら

学校は、勉強だけでなく集団生活を学ぶ場です。しかし、集団生活の中で、喧嘩や冷やかし、仲間外しなどが起きることもあります。

学校ではトラブル解決の原則として、まずは、一方の言い分を鵜呑みにするのではなく事実確認を行います。次に、きっかけ、原因を把握し、どうすれば防げたか関係児童に考えさせます。そして、再発防止の方法を子供と一緒に考えます。（必要に応じて、保護者と情報共有を行います。）

「うちの子に限って、絶対にそんなことはない」など感情的な否定や保護者同士の対立は解決が滞ります。

私の心に残っている名言を紹介します。

「問題が起こったっていいじゃありませんか。彼らは未熟なんです！**間違えたらそれは間違いだと、繰り返し繰り返し教えてやる！**それが**教育**なんです！」

（金八先生第２シリーズ第24話から金八先生の言葉）